

事例 24

- 性 別 ……………女性
- 年 齢 ……………88 歳
- 介護環境 ……………介護老人福祉施設
- 最も類似する状態像の例 …………… 3 - 1
- 要介護度変更 ……………要介護 4 → 要介護 3

●審査及び判定の概要

廃用性の筋力低下や聴力障害の見られる事例。

介護認定審査会では、複雑動作、特別介護への介護の必要性について検討が行われた。「特記事項の記載から、意欲がないだけで実際には可能な項目があると判断できるのではないか」との意見が出された。状態像の例との比較に基づき、要介護 3 に変更した。

No.

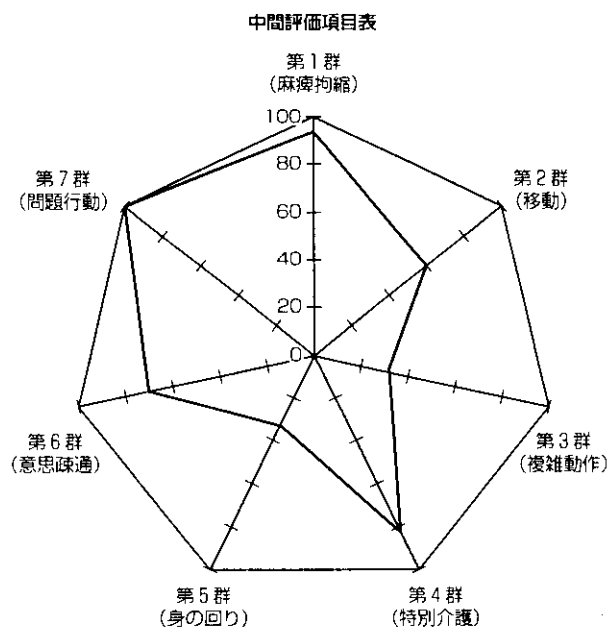
介護審査会資料

申請区分：新規申請
被保険者区分：第1号被保険者

年齢	88	第1群	1. 麻痺 (左-上肢)	ある ある
性別	女	(麻痺拘縮)	(右-上肢)	
過去の認定審査会結果	なし		(左-下肢)	
前回認定有効期間	-		(右-下肢)	
前回介護保険審査会結果	なし		(その他)	
一次判定結果	要介護4	一次判定報告コード	2. 拘縮 (肩関節)	
要介護認定等基準時間	100分	機能訓練+間接生活介助	(肘関節)	
			(股関節)	
			(膝関節)	
			(足関節)	

現在の状況	介護老人福祉施設
訪問介護 (ホームヘルプサービス)	0回/月
訪問入浴介護	0回/月
訪問看護	0回/月
訪問リハビリテーション	0回/月
居宅療養管理指導	0回/月
通所介護 (デイサービス)	0回/月
通所リハビリテーション (デイケア)	0回/月
福祉用具貸与	0品目
短期入所生活介護	0日/月
短期入所療養介護	0日/月
痴呆対応型共同生活介護	0日/月
特定施設入所者生活介護	0日/月
福祉用具購入	0品目/6月間
住宅改修	なし

障害老人自立度：B1 痴呆性老人自立度：IIb



中間評価項目得点

第1群	第2群	第3群	第4群	第5群	第6群	第7群
94.3	61.9	30.6	80.9	33.7	72.4	100.0

〈特別な医療〉

点滴の管理	気管切開の処置
中心静脈栄養	疼痛の看護
透析	経管栄養
ストーマの処置	モニター測定
酸素療法	褥瘡の処置
レスピレーター	カテーテル

第2群 (移動)	1. 寝返り 2. 起き上がり 3. 両足での座位 4. 両足つかない座位 5. 両足での立位 6. 歩行 7. 移乗	つかまれば可 つかまれば可 自分で支えれば可 自分で支えれば可 支えが必要 支えが必要 見守りが必要
第3群 (複雑動作)	1. 立ち上がり 2. 片足での立位 3. 浴槽の出入り 4. 洗身	つかまれば可 支えが必要 行っていない 全介助
第4群 (特別介護)	1. ア. じよくそう イ. 皮膚疾患 2. 片手胸元持ち上げ 3. 嚥下 4. ア. 尿意 イ. 便意 5. 排尿後の後始末 6. 排便後の後始末 7. 食事摂取	ととききある ととききある 直接的援助 直接的援助
第5群 (身の回り)	1. ア. 口腔清潔 イ. 洗顔 ウ. 整髪 エ. つめ切り 2. ア. ボタンのかけはずし イ. 上衣の着脱 ウ. スポン等の着脱 エ. 靴下の着脱 3. 居室の掃除 4. 薬の内服 5. 金銭の管理 6. ひどい物忘れ 7. 周囲への無関心	一部介助 一部介助 一部介助 全介助 見守りが必要 見守りが必要 一部介助 一部介助 全介助 全介助
第6群 (意思疎通)	1. 視力 2. 聴力 3. 意思の伝達 4. 指示への反応 5. ア. 毎日の日課を理解 イ. 生年月日をいう ウ. 短期記憶 エ. 自分の名前をいう オ. 今の季節を理解 カ. 場所の理解	1m先が見える 大声が聴こえる とときき通じる
第7群 (問題行動)	ア. 被害的 イ. 作話 ウ. 幻視幻聴 エ. 感情が不安定 オ. 昼夜逆転 カ. 暴言暴行 キ. 同じ話をする ク. 大声をだす ケ. 介護に抵抗 コ. 常時の徘徊 サ. 落ち着きなし シ. 外出して戻れない ス. 一人で出たがる セ. 収集癖 ソ. 火の不始末 タ. 物や衣類を壊す チ. 不潔行為 ツ. 異食行動 テ. 性的迷惑行動	できない できない

認定調査票（特記事項）

1. 麻痺・拘縮に関連する項目についての特記事項

疾病からの麻痺、拘縮はないが、下肢の筋力低下がある。左肩骨折し、治療をしていないため、動かすことはできるものの時々脱臼したようにブラブラ不安定になることがある。

2. 移動等に関連する項目についての特記事項

(2-6 歩行) 歩行は脱力し、膝が崩れてしまうためできない。車いすを使用。

3. 複雑な動作等に関連する項目についての特記事項

(3-1 立ち上がり) 排泄時は手すりや安全バーをもって立位をとるが、長時間は難しい。

(3-3 一般家庭用浴槽の出入り) シャワーチェアリフト浴での入浴対応。

(3-4 洗身) 身体的（ADL）には可能だが、本人の意欲がないため、ほとんど全介助状態。

4. 特別な介護等に関連する項目についての特記事項

(4-4 尿意・便意) 訴えが排泄に結びつくときと、濡れて失禁していても平気なときが見られる。

(4-5 排尿後の後始末) 定時にトイレ誘導し、夜間はオムツを使用。

(4-6 排便後の後始末) 日中は布下着に尿パットを使う。交換、清拭は介護者が実施。

5. 身の回りの世話等に関連する項目についての特記事項

(5-1 清潔、5-2 衣服着脱) すべてに準備と一部介助が必要である。衣類着脱等、指示を受けながら手足を通すものの、きちんと最後まではできず、整えを必要とする。

6. コミュニケーションに関連する項目についての特記事項

(6-2 聴力) 耳元で大声で話をする。またはボディランゲージを交えての意思疎通となり、やや困難。

(6-4 指示への反応) 質問の意味をとり違えたり、内容を理解しないまま「ハイ」と返事をして済ませてしまうことがある。

8. 特別な医療に関連する項目についての特記事項

体調不安定の際、嘔吐することが時々ある。離床を「しんどいから」と好まず、ベッドで寝ていることを好む。

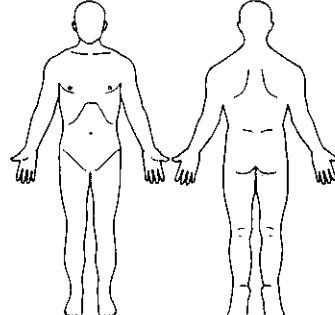
(4) 精神・神経症状の有無
有 (症状名) 無
 (有の場合) → 専門医受診の有無 有 () 無

(5) 身体の状態
 利き腕 (右 左) 体重 = kg 身長 = cm 凡例

<input type="checkbox"/> 四肢欠損	(部位:)	程度: <input type="checkbox"/> 軽 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 重	
<input type="checkbox"/> 麻痺	(部位:)	程度: <input type="checkbox"/> 軽 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 重	
<input checked="" type="checkbox"/> 筋力の低下	(部位: 両下肢)	程度: <input type="checkbox"/> 軽 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 重	
<input type="checkbox"/> 褥瘡	(部位:)	程度: <input type="checkbox"/> 軽 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 重	
<input type="checkbox"/> その他皮膚疾患	(部位:)	程度: <input type="checkbox"/> 軽 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 重	

関節の拘縮 ・肩関節 右 左 ・股関節 右 左
肘関節 右 左 ・膝関節 右 左

失調・不随意運動・上肢 右 左 ・体幹 右 左
下肢 右 左



4. 介護に関する意見

(1) 現在、発生の可能性が高い病態とその対処方針
尿失禁 転倒・骨折 徘徊 褥瘡 嚥下性肺炎 腸閉塞 易感染性
心肺機能の低下 痛み 脱水 その他 ()
 → 対処方針 ()

(2) 医学的管理の必要性 (特に必要性の高いものには下線を引いて下さい)
訪問診療 短期入所療養介護 訪問栄養食事指導
訪問看護 訪問歯科診療 その他 (介護老人福祉)
訪問リハビリテーション 訪問歯科衛生指導 施設入所中
通所リハビリテーション 訪問薬剤管理指導

(3) 介護サービス (入浴サービス、訪問介護等) における医学的観点からの留意事項
 ・血圧について 特になし あり ()
 ・嚥下について 特になし あり ()
 ・摂食について 特になし あり ()
 ・移動について 特になし あり ()
 ・その他 ()

(4) 感染症の有無 (有の場合は具体的に記入して下さい)
有 () 無 不明

5. その他特記すべき事項

要介護認定に必要な医学的なご意見等をご記載して下さい。なお、専門医等に別途意見を求めた場合はその内容、結果も記載して下さい。(情報提供書や身体障害者申請診断書の写し等を添付して頂いても結構です。)

- ・ 麻痺はないが廃用性の筋力低下があり、ADLは車いすレベルである。
- ・ 聴力障害のため会話による意思疎通はできない。